



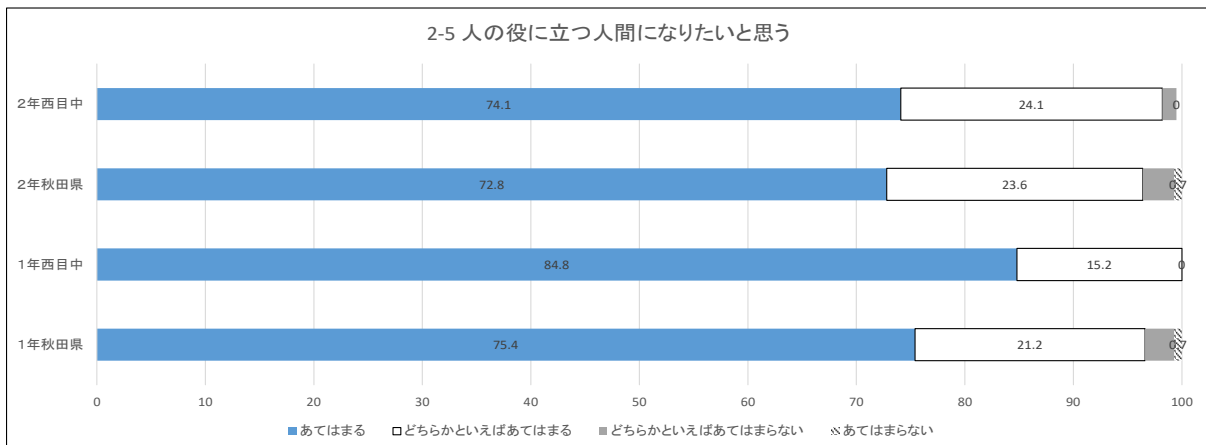
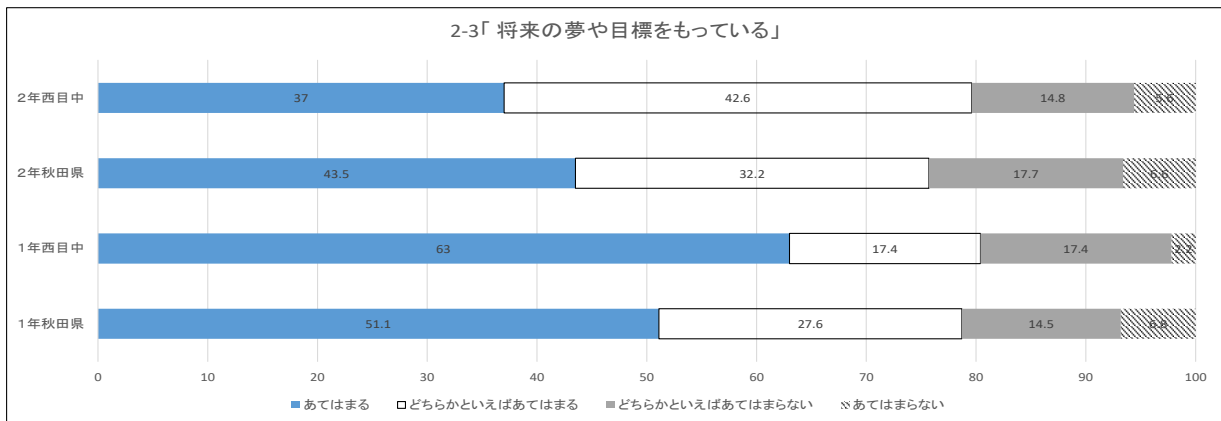
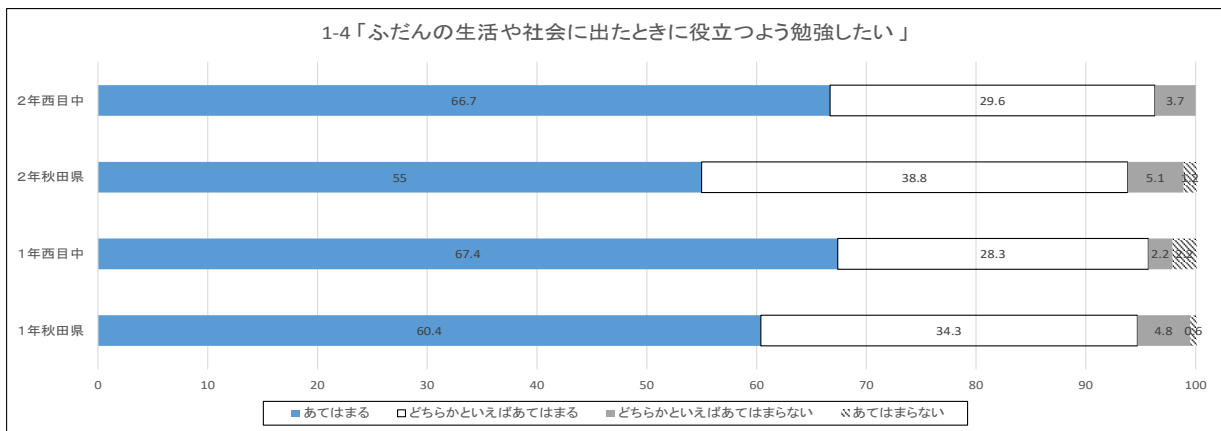
立志の丘

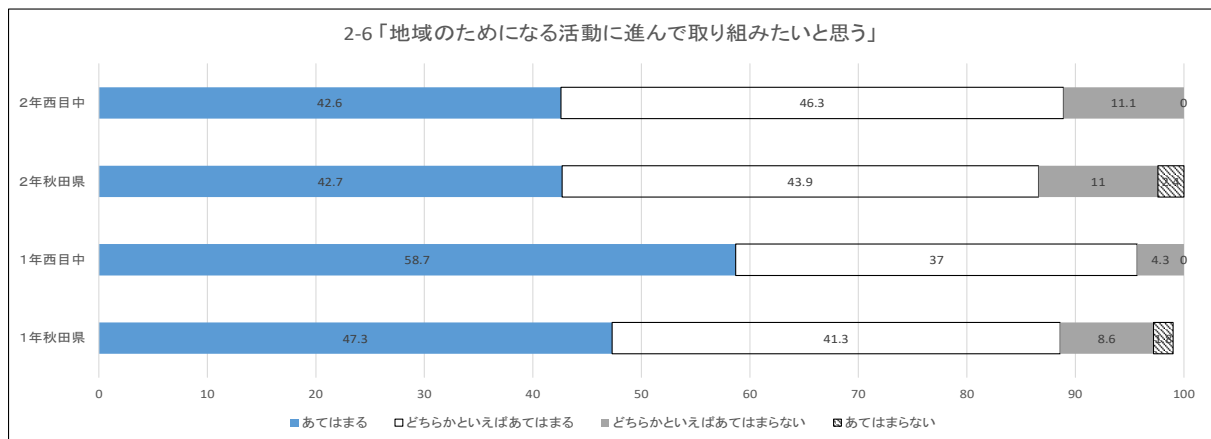
第45号
R5.2.27
西目中学校
文責：高野

秋田県学習状況調査結果について (2)

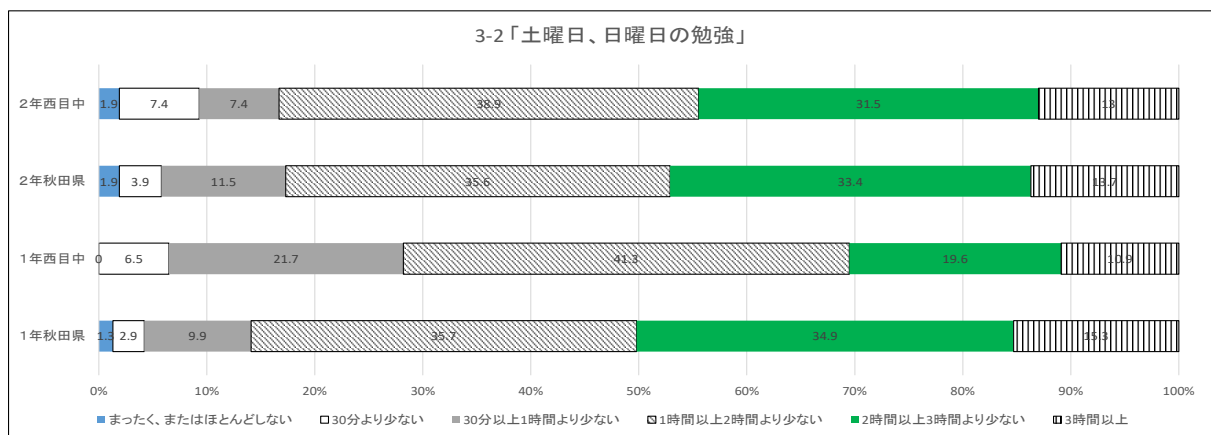
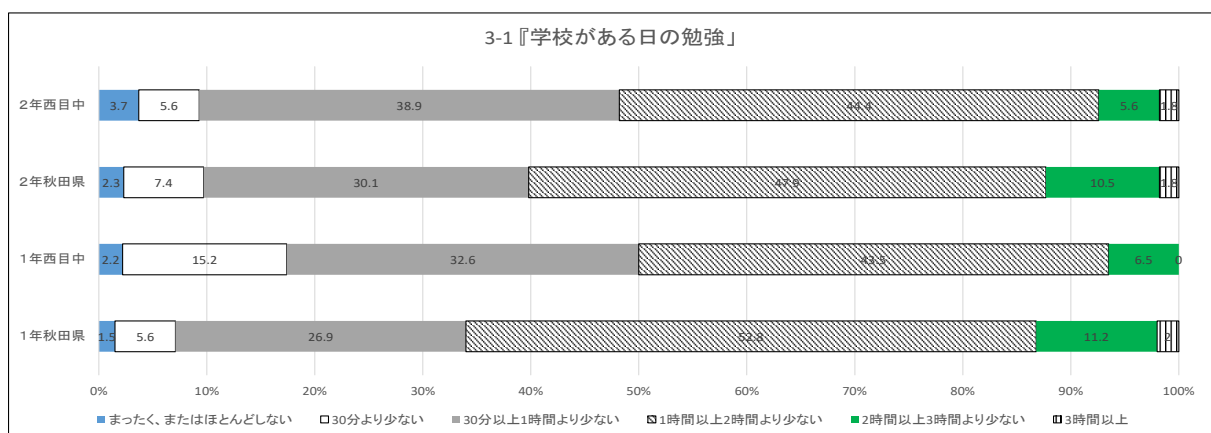
1月30日(水)に全県の1・2年生を対象に実施された「秋田県学習状況調査」の質問紙結果についてお知らせします。県平均と比較して高い部分は継続し、低い部分は改善していくよう努めます。

1. 肯定的な考え(あてはまる・どちらかというにあてはまる)が高い項目





2. 県平均と比較してかなり差がある項目



◎「ふだんの生活や社会に出た時役立つよう勉強したい」は、1・2年生ともに9割を超えて県平均以上、「人の役に立つ人間になりたいと思う」は1年生が100%、2年生も98.2%、「地域のためになる活動にすすんで取り組みたいと思う」も1年生が92.4%、2年生が88.9%でかなり高い。また、「将来の夢や目標をもっている」は、どちらも県平均を3ポイント程度上回っている。これらは今年度、地域の協力を得て活動したSDGsの取組等に効果があったものと思われる。

▲県平均と比較してかなり差が見られた課題となる項目は「学校がある日の勉強時間」と「土曜日・日曜日の勉強時間」である。平日に、0～1時間未満の生徒が、1年生は半分の50%、2年生も半数近くの48.2%いる。また、土日も1時間未満が1年生は28.2%で県平均の倍以上であった。家庭での学習時間が他校に比べて少ないところを改善するために、スマホやゲームを含めた生活リズムの見直しや、家庭学習の内容や方法について、改善につながる指導を行っていく。